

展覧会名	ジュエリーをたのしむ6 カット
会 期	2023年10月21日（土）－2024年2月26日（月）
会 場	山梨ジュエリーミュージアム 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階（山梨県庁）
入館料	無料
お問合せ	山梨ジュエリーミュージアム TEL 055-223-1570

展覧会概要

宝石のカットの形状は大きく2種類に分かれます。いくつものファセット（研磨面）の多面体で内部からキラキラと宝石を輝かせる「ファセットカット」と、ファセットを付けずに石の表面光沢や色、ボリューム感を生かしたカットで、その2つをベースに更に細かいバリエーションがあり、今も増え続けています。

ファセットカットとしては主にダイヤモンドに使用されるラウンドブリリアントカットのほか、エメラルドカット、マーキスカット、ペアシェイプカット等が挙げられ、ファセットを持たないカットにはカボションカットや彫刻等、様々な種類があります。カットの技術やデザインは長い時間をかけて発展し、宝石を最大限に輝かせ、その価値を高めてきました。

宝飾産地山梨にも、ジュエリーの制作に欠かせない宝石研磨の技術があります。山梨では、かつて県北部の金峰山一帯から良質な水晶が産出し、江戸時代後期に京都から研磨加工技術が伝わったことから、宝石研磨の発展へとつながり、現在のジュエリー産業の礎となりました。水晶研磨から始まった研磨技術は、やがて水晶以外にも及び、あらゆる宝石類を磨き上げるまでになっていきます。現在ではオーソドックスなカットのほか、職人が考案したオリジナルカットなど、宝石を美しく見せるカットを求めて様々な試行錯誤と挑戦がなされています。

今回の展示では、代表的な宝石のカットを用いたジュエリーから、山梨の職人によるオリジナリティ溢れるカットのものまで、宝石の豊かな表現に注目します。多彩な宝石が生み出す輝きの世界を覗いてみませんか。

主な展示作品



1. リング
デザイン・制作：篠原貿易株式会社



2. ラベルピン
《あひる・にわたりのラベルピン》
デザイン・制作：有限会社ダイメックス
(ダイヤモンドネックレス専門店 Deliciae)



3. ブローチ《福光》
デザイン：桐戸寿之
制作：保坂貴金属株式会社 山本製作所

同時開催

「ジュエリーマスター展—至高のクラフトマンシップ—」

主催：山梨県産業労働部産業振興課
2023年10月21日（土）－2023年12月18日（月）

「山梨県立宝石美術専門学校所蔵 鉱物展」

2023年12月23日（土）－2024年2月19日（月）

体験工房のご案内

山梨ジュエリーミュージアムでは、土、日、祝日にジュエリー制作が体験できるプログラムをご用意しています。ジュエリー産地、山梨で活躍している職人の指導のもと「山梨ジュエリー」のワザを体験できます。



広報用画像

本展覧会をご紹介して頂ける場合に限り、上記掲載の作品画像データを提供いたします。当館サイトからダウンロードできますので、メールでお問い合わせください。ダウンロードアドレスをご連絡します。なお、お問い合わせの際は、下記内容を合わせてお知らせください。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ① 希望する作品画像の番号・タイトル | ④ 所在地・電話 |
| ② 媒体名・掲載(公開)予定日 | ⑤ メールアドレス |
| ③ 御社名・ご担当者名 | |

【重要】プレス画像のご利用にあたって、必ずお読みください。

- ① プレス画像の利用は、当該画像に係る展覧会または当館に関する記事掲載の目的での利用に限ります。
- ② プレス画像の掲載に際しては、作家名、作品名、作品情報など所定のクレジットを必ず記載してください。
- ③ 校正の段階で原稿を山梨ジュエリーミュージアム 広報担当宛 (jewelry-museum@pref.yamanashi.lg.jp) にお送りください。
- ④ プレス画像は全図でご使用いただき、トリミングや文字乗せ等は行わないでください。また、画像が無断で第三者に利用されることのないよう、コピーガード、転載不可の明記など、必要な措置を講じてください。
- ⑤ 画像データは使用後速やかに破棄してください。データの保存および第三者への提供はお控えいただくようお願いします。
- ⑥ 取材の内容及び借用画像が収録・掲載されたサイト・番組等はDVD1枚、印刷物については、現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご寄贈ください。
※媒体掲載にご使用いただける印刷用の高解像度(300-400dpi)とオンライン用の低解像度(72dpi)の2種類の画質をご用意しております。